

インピーダンス

日本共産党通研支部
http://impedance.sakura.ne.jp/
jcp.impedance@gmail.com

No. 2632
2023年5月22日
定価 1部10円

広島・G7サミットへの三つの要請

核廃絶に向けたG7国会議員フォーラム

日本共産党 志位委員長が発言

核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）は4月28日、G7広島サミットを前に「核兵器廃絶に向けたG7国会議員フォーラム」を国会内で開催し、国内外の議員が発言しました。

でサミットを開催する
なら、①核兵器の非人道性を明確な形で告発



日本共産党の志位和夫委員長は「G7サミットへの要請」として、被爆地である広島

し、被爆者と直接面会して、その声に真摯に耳を傾ける②「自国核

もっと還元してほしい」

6月から家庭向け電気料金大幅上げ。政府



が電気料金の値上げを了承した。上げ幅は東京電力が15%、北陸電力が40%など「電気料金には原発推進・維持のための費用も含まれている」「家計はますます厳しくなる」

× 新型コロナウイルス。 ×

【つづへ続く】

NTT2022年度の決算発表(12日)。「営業収益が前年度比8.1%増の1兆1362億円、営業利益が同3.4%増の1兆8290億円だった」「いずれも過去最高を更新した」「グローバル事業が堅調なこととNTTドコモの4期ぶりの増収増益が大きいという」「株主だけでなく社員にも

産業軍事化推進する 軍需産業支援法案

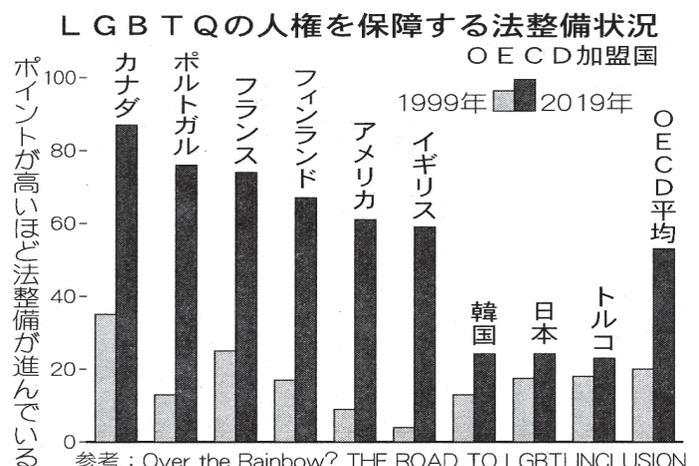
兵器の完全廃絶の明確な約束」など、核不拡散条約（NPT）第6条にもとづく核軍縮義務を果たす③いざという時に広島・長崎のような非人道的惨禍を引き起こすことを前提にした「核抑止力」論を根本的に見直す―との3点を世界に発信するよう求めました。その上で、「核兵器禁止条約への前向きな姿勢こそ発信すべきだ」と強調しました。

国内軍需産業を財政支援する軍需産業支援法案が9日、衆院本会議で自民、公明、立憲維新、国民などの賛成多数で可決されました。日本共産党は反対しました。

同法案は、国が採算のとれない軍事企業の製造施設を買い取り、設備投資や維持管理を負担せずに経営できるようにする「究極の軍

需産業支援」です。さらに新たな販路拡大のために武器輸出への助成を進めるものです。また下請けも含む広範な契約企業の従業員に守秘義務を課し、秘密漏洩だけでなく、企てや教唆も刑事罰の対象にします。経済と産業の軍事化を進める法案は徹底審議のうえ廃案にすべきです。

今週の数字



(日本はOECD35カ国中34位)

大軍拡も増税もNO！ 賃金あげて消費税さげるYES！

岸田内閣の大軍拡

おおもとに米国の要求



岸田自公政権は、違憲の敵基地攻撃能力保有を掲げ、5年間で43兆円の大軍拡を狙っています。その大軍拡の大本拠にあるのは米国の要求です。

前トランプ米大統領はNATO諸国にGDP比2%以上の国防費確保を要求。20年に当時のエスパール国防長官

は、日本を含む全ての同盟国に、同様の軍事費確保を求めました。これを受けて、自民党は21年の総選挙でGDP比2%の軍拡を公約。岸田首相は昨年5月の日米首脳会談などで「5年以内の防衛費の相当な増額」を宣言、大軍拡を開始しました。米国製の長距離巡航ミサイル・トマホーク400発の一括購入や、射程3000kmの極超音速誘導弾の開発も米国の要求に応じているのです。

政府は命を守る責任を果たせ 新型コロナの「5類」移行

日本共産党の志位和夫委員長は8日、新型コロナウイルス感染症の「5類」移行に関して記者会見。

志位氏は、「2類相当」から「5類」移行に伴い、医療提供体制に対する財政支援が大幅に削減され、コロナに対する医療供給体制のひっ迫が強く懸念される。また患者の自己負担が増えると、受診抑制で命が損なわれる心配を指摘。医療機関の体制を支えるための支援を弱めてはいけません。命を守る責任を果たすことを政府に強く求めていくと述べました。

科学ピックアップ

エタノール蒸気吸入でインフル重症化抑制 沖縄科技大

米感染症学会誌『ジャーナル・オブ・インフェクシャス・ディジーズ』(4月27日付)

沖縄科学技術大学院大学の研究グループの新竹積教授らは、エタノール消毒液が皮膚に



付いたインフルエンザウイルスのエンベロープを破壊し感染力を弱くすることに注目。体内でも同様の効果を得られるかマウスで実験を行いました。

研究グループは、A型インフルエンザウイルスに感染させたマウスのグループにエタノール濃度が4%の蒸気を1日2回各10分間吸入させて感染後の経過を観察するとともに、

水蒸気を同じように吸入させたグループと比較しました。水蒸気を吸入させたグループは8日後に半数以上が死亡、エタノール蒸気を吸入させたグループは2週間後もほとんどが生き残りました。

上気道表面を覆った20%のアルコールが感染を拡大するのを抑制したと推定しています。

反共は戦争前夜の声

ドイツでは
マルティン・ニーメラーの言葉

「ナチ党が共産主義者を攻撃したとき、私は多少不安だったが、共産主義者ではなかったから何もなかった。それでナチ党は社会主義者を攻撃した。私は前より不安だったが、社会主義者ではなかったかもしれないなど、事実ではない暴言はひどすぎる。辞職すべきだ」本会議での質問内容



容は維新が認めたものだ。党としての責任が問われる」

季節外れの暑さ。「岐阜県揖斐川町で35℃を超え、全国初の猛暑日だった」東京も17、18日と連続して真夏日になった「東京での5月中旬の真夏日は19年ぶりとのこと」18日、沖縄・奄美地方が梅雨入りした」